授業科目等の概要

	（職業実践専門課程園芸系専門課程 マイスター科）															
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1	○			栽培・生産論	花き生産において重要である用土、土壌、肥料、かん水システム、病害虫の発生・防除、農薬について解説し、花き生産に必須の基礎知識の習得をする。	1前	1	○			○			○	
2	○			植物生理学	植物の生理的な特性と栽培利用方法について学ぶ。	1前	1	○			○		○		
3	○			花き生産実習	栽培花きの繁殖から栽培、管理の実習を行い、鉢物及び切り花生産におけるそれぞれの基礎技術を習得する。	1前	3			○	○		○	○	○
4	○			園芸流通概論	園芸産業全体の中で、生産・流通・販売のそれぞれの業種の概況や最新の取り組みについて学ぶ。流通現場の視察を通して、産業の実態や実際の商品に触れ、園芸流通への理解を深める。	1前	1	○			○	○	○		
5	○			園芸装飾実習Ⅰ	生活空間に植物を配置する場合の装飾方法及び家庭園芸での植物の維持管理方法について、実習を通じて基本技術・技法を習得する。	1前	1			○	○	○	○	○	○
6	○			フラワーデザイン実習Ⅰ	フラワーアレンジメントや花束を中心に自ら制作することにより花き装飾の基礎技術を養う。	1前	2			○	○	○	○	○	○
7			○	３級園芸装飾技能検定対策実習	3級園芸装飾技能検定試験の課題を繰り返し制作練習することで基礎技術の習得を徹底し、検定試験の合格水準の技術・知識を習得する。	1前	1	△		○	○		○	○	○
8			○	３級フラワー装飾技能検定対策実習	3級フラワー装飾技能検定試験の課題を繰り返し制作練習することで基礎技術の習得を徹底し、検定試験の合格水準の技術・知識を習得する。	1前	2	△		○	○		○	○	○
9	○			花修景実習Ⅰ	校内を実習地として、一・二年草や宿根草の植栽のデザインや管理を行う。校内で栽培した一年草の苗を中心に校内の植栽地に夏花壇を作り管理をする。	1前	1			○	○		○	○	○
10	○			造園学概論	日本や海外の庭園・造園の歴史や様式、また、公園について学ぶことにより、造園（ランドスケープ）についての知識を習得する。	1前	1	○			○	○	○	○	
11	○			造園施工・管理実習Ⅰ	自然素材や加工材料を用いた造園施設の制作と、時期や生育特性に合わせた植物の管理方法を、学校内外での調査や実習により学び、造園の施工管理の基礎的な理論と技術を習得する。	1前	2			○	○		○	○	○

12			○	３級造園技能検定対策実習	3級造園技術技能検定に合格するための知識、技術を習得する。	1前	2	△		○	○		○		
13	○			商品動向リサーチⅠ	学名や原産地、特徴、管理方法について、各自オリジナルの植物データベースを作成する。	1前	1			○	○	○	○		
14	○			植物管理基礎実習Ⅰ	生産温室、学内花壇、庭園その他各種花飾り等の日常管理を通じて、園芸植物管理に不可欠な基礎的技術と知識を習得する。	1前	2	△		○	○		○		
15	○			Global Communication in Horticulture Ⅰ	海外視察研修に向けて渡航に関する英語表現を学び、自律的に会話できる力を養うとともに、園芸に関する英語表現を学ぶ。	1前	1	○			○			○	
16	○			イベント販売演習	学生自らが制作した商品を、ぎふワールド･ローズガーデンにて実際に販売する実践を通じて、商品企画、制作、販売、会計、分析などビジネス活動における一連の流れを体験する。	1後	1		○		○	○	○		
17			○	生産マネージメント実習Ⅰ	花き栽培温室の管理やゼミ会議を通じて、生産現場におけるマネージメント能力の向上を図る。	1後	2			○	○		○		
18			○	生産課題解決演習Ⅰ	花き生産現場等から掘り起こした課題を設定し、調査研究に取り組むことで課題解決能力を習得する。	1後	2		○		○		○		
19			○	園芸装飾実習Ⅱ	学内にテーマに合った小ガーデンをグループでデザイン、資材調達、施工、管理、撤去の一連の作業を行い、実践的な技術を習得する。	1後	1			○	○	○	○		
20			○	フラワーデザイン実習Ⅱ	フラワーデザイン実習Ⅰで習得した基礎技術を活用し、イベントに特化した作品(商品）づくりを行う。	1後	2			○	○		○	○	○
21	○			花修景実習Ⅱ	花修景実習Ⅰに引き続き、ボーダーガーデンやぎふワールド･ローズガーデンを実習地とし、植栽計画・管理を行う。	1後	1			○	○	○	○	○	○
22			○	造園施工・管理実習Ⅱ	造園管理実習Ⅰに引き続き、造園施設の制作実習及び学内庭園の管理実習を通じて、造園施工及び管理にかかわる基礎的な知識と技術を習得する。	1後	2			○	○	○	○	○	○
23			○	測量実習	造園空間を計画・設計・施工するために必要な測量の知識と技術を習得する。平板測量、水準測量などの知識を習得する。	1後	1			○	○		○		
24			○	製図実習	造園空間を施工するために必要な製図の知識と技術を習得する。デザイナーの意図を明確に伝え、コミュニケーションを図るために必要な設計や作図技術の基礎を学ぶ。	1後	1			○	○		○		
25			○	ＣＡＤ製図実習	コンピュータを用いた作図技法を学ぶ。造園設計・コンサルティングの分野で必要なＣＡＤの基本操作から２Ｄ、３Ｄの製図方法を習得する。	1後	1			○	○			○	○

26			○	イベントディスプレイ実習	校外でのディスプレイについてデザインコンセプトの立案を行い、基本的な工具を使用して、グループでコミュニケーションをとりながらチームで作業を行う。	1後	1			○	○	○	○		
27	○			商品動向リサーチⅡ	商品動向リサーチIに続き、秋冬期の植物について、各自オリジナルの植物データベースを作成する。	1後	1			○	○	○	○		
28			○	商品開発演習	学校での自身の学習活動の中から、テーマを見つけて商品開発を行い、実店舗での販売までを行う。	1後	1		○		○	○		○	○
29	○			キャリアデザインI	自らの勤労観や職業観を育み、良い働き方、生き方を考える契機とする。	1後	1	○			○		○	○	
30	○			起業・経営シミュレーション	簡単な事業計画の作成と発表・討論を通して経営者感覚を身につけるとともに、経営学に関する基礎的知識を習得する。	1後	1	○			○		○		
31			○	園芸色彩学	園芸に取り組む上で必要な色彩の基礎や効果的なコーディネートを学び、商品づくりや販売促進、造園や景観計画におけるカラーデザインテクニックを身につける。	1後	1	△		○	○		○	○	○
32			○	いけばな演習	伝統的な園芸文化であるいけばなの基礎を学び、実際に制作することによっていけばなの魅力を理解する。	1後	1		○		○			○	○
33			○	園芸福祉論・実習	園芸療法や園芸福祉分野の理解を深め、実際の活動を主体的に展開できる知識を習得する。	1後	1	△		○	○			○	○
34	○			植物管理基礎実習Ⅱ	生産温室、学内花壇、庭園その他各種花飾り等の日常管理を通じて、園芸植物管理に不可欠な基礎的技術と知識を習得する。	1後	1	△		○	○		○		
35	○			Global Communication in Horticulture Ⅱ	海外視察研修に向けた準備として、旅先での基本的な英会話を習得する。また、英語で自分の専攻分野やその内容、日本の園芸文化などについて意思伝達、自己発信ができることを目的とする。	1後	1	○			○			○	
36	○			インターンシップI	受け入れ先企業において実際の業務に従事することを通じて、「就職や勤労に対する意識の涵養」と「自らに足りないものを自覚」し、今後の進路・職業選択に役立てる。	1後	4			○		○	○		○
37			○	生産マネージメント実習Ⅱ	『花き生産実習』、『生産マネージメント実習Ⅰ』を通じて学んだ花き生産技術を活用して、各学生に担当温室を割り当て、温室の利用計画の作成から温室管理を行う。	2前	4			○	○		○		
38			○	生産課題解決演習Ⅱ	商品開発や企業連携など現場の課題に直結した課題研究に取り組み、結果に基づいた課題の再構築を通じて課題解決力向上を図る。	2前	2		○		○	○	○		
39			○	基礎育種学	花きの新品種育成に必要な遺伝・育種学、バイオテクノロジーの基礎知識及び最新の育種動向・戦略について学ぶ。育種目標を立て、実際に交配を行い、育種技術の基礎を習得する。	2前	1	○		△	○	○	○		

40			○	フラワー装飾演習	『フラワーデザイン実習Ⅰ・Ⅱ』で培った技術を基に、花の原価を知り、デザインの幅を広げて発想力を豊かにし実践的な装飾技術の習得を目的とする。	2前	2		○		○		○	○	○
41			○	ウェディング実習	クライアントの要望や予算に合わせ、披露宴会場のトータルコーディネートを経験し、ウエディング技術の習得を目的とする。	2前	1			○	○		○	○	○
42			○	フューネラル実習	日本の葬儀装飾技術を継承しつつ、新たなフューネラルビジネスにおける葬儀装飾技術を習得することを目的とする。	2前	1			○	○		○	○	○
43			○	装飾技術スキルアップ実習	１年生で学んだ花き装飾の知識と技術を確実に自分の物にすべく装飾技術を磨き、熟練技能者の指導を受けることで、更に高い技術の習得を目的とする。	2前	2		○		○		○	○	○
44			○	2級園芸装飾技能検定対策実習	2級園芸装飾技能検定試験の課題を繰り返し制作練習することで基礎技術の習得を徹底し、検定試験の合格水準の技術・知識を習得する。	2前	1	△		○	○		○	○	○
45			○	2級フラワー装飾技能検定対策実習	2級フラワー装飾技能検定試験の課題を繰り返し制作練習することで基礎技術の習得を徹底し、検定試験の合格水準の技術・知識を習得する。	2前	2	△		○	○		○	○	○
46			○	花修景実習Ⅲ	学内及びぎふワールド･ローズガーデンにおける植栽管理、ボーダーガーデンでの植栽管理を通じて、花修景のデザイン、管理について学ぶ。	2前	1			○	○	○	○	○	○
47			○	造園施工・管理実習Ⅲ	造園管理実習Ⅰ、Ⅱで習得した技術を基に、造園施設を作成する。校内庭園や植物の時期や生育特性に合わせた管理方法と造園技術を確実に習得する。	2前	2			○	○	○	○	○	○
48			○	造園総合実習	それぞれにテーマ・敷地条件を設定し、平面図・詳細図等その根拠となる設計図書を作成し、このデザインをもとに実際の空間制作を行うことで、計画・設計・施工までのプロセスを学ぶ。	2前	3			○	○	○	○		
49			○	2級造園技能検定対策実習	２級造園技術技能検定に合格するための知識、技術を習得する。	2前	2	△		○	○		○	○	○
50			○	造園工学・施工論	造園施工管理技士２級資格の学科試験対策を行う。	2前	1	○			○		○	○	○
51			○	造園設計演習	「住宅庭園」を対象に調査、計画、設計、発表な関する専門技術を学ぶ。	2前	1		○		○		○	○	○
52			○	SNSプロモーション	YouTubeを活用し動画による情報発信を、編集からアップロードまでの実践を行うことにより正しいSNSにおけるプロモーションを学ぶ。	2前	1	△		○	○			○	○
53	○			キャリアデザインⅡ	職業人として知っておくべき労働や租税に関する基本的な法律知識、また他者と協働できる創造的な人材となるためのディスカッションスキルを習得する。	2前	1	○			○		○	○	

54			○	基本簿記	全ての働く人にとって大切な「基礎的な簿記・会計の力」を身につける。	2前	1	○			○		○		
55			○	園芸文化研修	歴史・文化の一大集積地である京都を訪ね、日本の園芸、造園の歴史を体現している都市公園や文化財庭園などを視察し、伝統文化に対する見聞を広げ、考察を深める。	2前	1	△		○	○	○	○	○	○	○
56			○	盆栽演習	盆栽を専門講師から基礎を学び、実際に制作する事によって、盆栽の精神性、芸術性を理解して、その魅力を承継してゆく。	2前	1		○			○	○	○	○
57	○			植物管理基礎実習Ⅲ	『植物管理基礎実習Ⅰ・Ⅱ』を通して学んできた植物管理知識、技術、経験を１年生に伝えることで、自分自身のレベルを再確認するとともに、どのように相手に対して自分が持っている知識、技術、経験を伝えれば良いのかを学ぶ。	2前	1	△		○	○		○		
58	○			海外視察研修	世界中の園芸商品やフラワーデザイナーの作品が集まる国際都市であるシンガポールを訪問し、海外の花文化について最新の動向を理解する。また、シンガポール政府が続けてきた緑化政策の成果により、世界最高レベルの園芸技	2前	3	△		○	○	○	○		
59			○	インターンシップⅡ	受入先企業・団体等で「実際に職務を遂行するための姿勢や態度」を実践することで、今後の職業・企業選択に活かし、また授業への動機付けとなることを目的とする。	2前	2			○	○	○	○		○
60			○	スマート農業研修	スマート農業技術の現状を調査・習得し、花き生産にどのように活用できるかを理解することを目的とする。	2後	1		○		○	○	○		
61			○	フラワービジネス演習	特筆すべき生花店、園芸店等におけるビジネスモデルや独自の工夫等に着目し、経営の特徴を把握するとともに、フラワービジネスにおけるマーケティングとコストについて理解し、考察を深める。	2後	1		○		○	○	○		○
62			○	造園積算・施工管理演習	実際の現場での施工管理のあり方や公共工事で必要となる設計図書に関して、実践的な対応の方法と現場で必要な心構えを織り込んで講義し、その遂行に必要な知識を演習により習得する。	2後	1		○		○		○		
63			○	公園・緑化概論	都市公園・都市緑化に関する基本知識、幅広い意識とビジョンの涵養及び最新の知識を習得する。	2後	1	○			○		○		

64			○	植物ビジネス論	担当教員が各分野において、卒業するまでに学生に聞かせたい・知ってもらいたい内容を厳選し、その分野の第一戦で活躍する業界人を講師に迎え、講演をオムニバス形式で行う。	2後	1	○			○		○	○	○
65	○			インターンシップⅢ	生徒各自が設定した研修課題に基づき受け入れ先企業・団体等で現場業務に従事することを通して、本校で学んだ知識・技術を応用するための創意工夫・知恵を得る。	2後	5			○	○	○	○	○		○
66		○		卒業研究・卒業制作（花き生産コース）	卒業研究・卒業制作Ⅰの結果を踏まえ、卒業論文作成に向けた調査・研究に取り組む。ＰＤＣＡサイクルを活用し、課題解決能力の向上を図る。	2後	8		○		○	○	○		○
67		○		卒業研究・卒業制作（花き装飾コース）	習得してきた花き装飾の知識と技術用いて、グループ課題・個人課題に取り組む。研究および作品制作を繰り返し、園芸業界で即戦力となり活躍できるよう、実践能力の向上を図る。	2後	8		○		○		○	○	○
68		○		卒業研究・卒業制作（造園緑化コース）	チームワークを重視し、調査・測量・計画・設計・施工の一連の実践的な過程を経て、グループで造園空間を制作する。	2後	8		○		○	○	○		○
合計					68 科目					105 単位						

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件：	必修科目を含む６４単位以上の修得。	１学年の学期区分	2 期
履修方法：	各年次に配当し編成された授業科目から、履修しようとする科目を	１学期の授業期間	24 週